

事業所における自己評価表

有限会社どれみ どれみIV

公表:2023年 12月 30日

事業所名 どれみIV

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
環境・体制整備	① 利用者定員が指導訓練等スペースとの関係で適切であるか	○				
	② 職員の配置数は適切であるか	○				
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			建物内は段差をなくし、バリアフリーとしております。	
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○				
	⑤ 保護者等の向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			令和5年 11月9日～12月9日にかけて、保護者様に事業所の評価をして頂きました。結果を職員間で共有し、業務改善につなげる為に話し合いを設けていきます。	
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やページ等で公開しているか	○			ホームページにて、公表しております。	
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		外部による評価は実施していませんが、今後機会があれば積極的に実施していきます。
適切な支援の提供	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			最低月1～2回の職員研修を行っております。	
	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	○			今後は5領域の観点からアセスメントを行い、個別支援計画に反映させていく予定です。	
	⑩ 子ども適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			全てのお子さまにS-M社会生活能力検査を行い、生活能力の評価を行っております。	
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			毎月、月初めに翌月の活動プログラム会議、毎日のスタッフミーティングを欠かさず行っております。	
	⑫ 活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	○			利用児の能力や特性に応じてプログラムを立案しております。	
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日では出来ない活動プログラム(外出や買物、クッキングなど)を休日や長期休暇に取り入れることで自立に向けた活動への参加を促しております。	
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成しているか	○			全てのお子さまに対して、能力に応じた個別支援又はグループ支援を行っております。	
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日事業所内ミーティングを行っております。	
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りをおこない、気付いた点等を共有しているか	○			児童発達支援管理責任者を中心にミーティングを行い、支援内容の振り返りを行っております。	
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証改善につなげているか	○			HUG(当社使用の成長療育システム)を使用し、保護者様向けと同様、事業所用として細やかな記録を行っております。	
関係機関や保護者との連携	⑱ 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			全てのお子さまとその保護者に対して基本的には6か月ごとにモニタリングを行っておりますが、できるだけ期間を短く設定し、細やかなモニタリングを心がけております。	
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	○				
	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			サービス担当者会議には、児童発達支援管理責任者が参加しております。	
関係機関や保護者との連携	㉑ 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			年間行事予定等は学校のスクールカレンダーで確認、共有させていただいております。また、必要に応じて送迎担当者によるお子様の学校での様子を共有させていただいております。	
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等の連絡体制を整えているか	—				対象児なし
関係機関や保護者との連携	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等の間で情報共有と相互理解に努めているか	○				

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
関係機関や保護者との連携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等への移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか	○			児童発達支援管理責任者が、必要に応じて情報提供をしております。	
	25	児童発達支援センターや発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			必要性に応じて、連絡を取らせて頂いております。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○		コロナの5類への移行を受け、今後は交流する機会を設けていきます。
	27	(地域自立支援)協議会等への参加しているか			○		今後は積極的に地域支援協議会等への参加を行います。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			年に複数回の面談と電話やメッセージでのやりとりにて共通理解をさせて頂いております。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○			今後は家族支援の観点から社内・外部の講師によるペアレント・トレーニングの研修を積極的に行っていきます。
保護者への説明責任等	30	運営規定、支援内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明させて頂いております。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			面談や電話等で子育て等に関するアドバイスをさせて頂いております。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○		コロナの5類への移行を受け、今後は連携する機会を設けていきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				
	34	定期的な会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもの保護者に対して発信しているか	○			HUG(当社使用の成長療育システム)を活用し、各事業所の情報を載せたり、ホームページでの活動の発信もしております。	
	35	個人情報に十分注意しているか	○			PCファイルはID・パスワードを入力することで管理しています。またSECURITYACTION(二つ星)を宣言(情報セキュリティ対策に取り組むことを自己宣言する制度)を実施しております。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			今年度は1月に地域交流を実施予定です。		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			保護者閲覧用ファイルにて目の届きやすい場所に提示しております。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年に2回、様々なシチュエーションを想定し、避難訓練を行っております。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			年に一回程度、虐待防止に関わる社内研修を行っております。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得たうえで個別支援計画に記載しているか	—		○		該当者がいない為、現在は未実施。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか	○				
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有されているか	○					